

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330431089	社会科教育法 Social Studies Education Method	加藤 雅亮			2	選択	2・3前期

科目の概要

DP3に記載されている小学校教諭に不可欠な専門的知識・技能を身に付け、子どもたちの未来の幸せに向けてその礎づくりを支援する温かな資質を持った小学校教諭の育成を目指す。また、DP1記載の本学の四大精神「真心・努力・奉仕・感謝」を実践しながらDP5記載の社会人基礎力・pisa型学力等を修得する。そして、自立した社会人として身近な社会や国際的な課題を理解し、自ら考え、社会に貢献できる人材の育成も目指す。

そのため、この科目では、小学校教諭としての社会科の知識や授業を創造する力を身に付け、児童を引き付けたり児童の力を伸ばしたりするノウハウを学ぶとともに、社会人としての教養を修得する。また、小学校教諭の魅力と難しさを理解し、児童の学びの支援をすることを担う覚悟を促しながら、小学校教育の尊さについて学ぶ。

担当教員は小中学校の教員を36年間務め、その間、市教育委員会事務局での行政経験や二度にわたる海外日本人学校での勤務経験がある。この科目では、それらの実務経験に即した講義を行う。

学修内容	到達目標
① 小学校教諭としての基礎知識・技能、児童を引き付けたり主体的に学びに向かわせたりするノウハウ等について学修する。 ② 小学校社会科の学習内容・指導上の留意点や教師支援の方法等についての実践的な理解を深める。 ③ 授業の導入や資料の選択・活用の仕方、提示方法を考え、指導案作成や模擬授業を通して、授業を創造する楽しさを感じる。 ④ 現場での授業者の体験を通して、小学校の現状や課題について理解を深め、学校教育の大切さについて考える。 ⑤ 時事問題を通して世の中の多様な見方や考え方を知り、世の中で起きている問題について自分の考えをもち、未来の日本や世界に対して自分はどう関わっていくのかを模索する。 ⑥ 規律を守ってペアやグループ、全員と話し合う中で、主体的に学ぶ姿勢とコミュニケーション能力を高める。	① 小学校教諭としての基礎知識や技能を修得し、児童を引き付けたり主体的に学びに向かわせたりするノウハウ等を獲得している。 ② 小学校社会科の学習内容・指導上の留意点や教師支援の方法等の実践的な内容について、理解している。 ③ 授業の導入や資料の選択・活用、提示方法を考え、指導案の作成や模擬授業が実施でき、授業を創造する楽しさを感じられている。 ④ 小学校現場の現状や課題を知り、将来にわたって学校を応援する社会人・保護者としての思いをもつ。 ⑤ 大人として、世の中のことに関心をもち、多様な意見に触れながら自分の意見をもち、未来の日本や世界に対して自分に何が出来るかを考える態度を養う。 ⑥ 講義のルールを守って、主体的に学ぶ姿勢とコミュニケーション能力を高め、充実した学修にする。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	グループやペアでの話し合いに積極的に参加しようとしたり、全体の場で自分の疑問点や考えを述べたりすることができる。また、世の中の出来事に関心をもち、自分で情報を集めようとする事ができる。
	働きかけ力	
	実行力	必要な情報や知識を自ら集め、それを学びにいかすことができる。
考え抜く力	課題発見力	学習内容や時事問題に対して、本質を捉え、自分なりに課題を見つけることができる。
	計画力	
	創造力	楽しい授業を創りあげるために、自分なりの工夫を考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループやペアでの話し合いや全体での発表の場面で自分の考えを分かりやすく表現することができる。
	傾聴力	グループやペアでの話し合いの場面等で他の学生の考えを共感的に聞いて、自分の考えの練り上げに活かすことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	学修上のルールを守って行動したり、学修課題に沿ってグループやペアで話し合ったりすることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

教科書 東京書籍 『新編 新しい社会3』
 教科書 東京書籍 『新編 新しい社会6 政治・国際編』(前年度に購入済み)
 教科書 東京書籍 『新編 新しい社会6 政治・国際編』(前年度に購入済み)
 小学校学習指導要領(平成29年3月告示) 解説 社会編 (前年度に購入済み)

次の中から、模擬授業で行いたい単元の教科書一つを選んで用意する。ただし前年度購入した『5年生上』または本年度全員が購入する『6年生 政治・国際』の中の単元で模擬授業を行いたい学生は、以下から選ばなくても良い。

教科書 東京書籍(2024) 『新編 新しい社会3』『新編 新しい社会4』『新編 新しい社会5下』『新編 新しい社会6 歴史編』

他科目との関連、資格との関連

前年度に履修した社会科研究の発展となる科目である。より授業力や実践的な力を高めることをねらいとして講義を行う。教育実習で必要となる指導案の書き方を学び、児童を引き付け学びを深める模擬授業を体験し、それをもとに魅力的な導入を考えて模擬授業を行う。小学校教諭免許取得に際し、必修である。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 講義や活動の中で疑問をもったことがあれば積極的に質問をすること。 グループやペアでの活動でコミュニケーション能力を磨きながら、自らの考えを積極的に発信すること。 社会科のみならず小学校の授業や学級経営そのものの在り方についても講義で言及する予定である。教育実習に直接役立つとの心構えで受講すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 私語など周囲にとって迷惑となる行動は慎むこと。 携帯やスマートフォンは、使用するよう指示がある場合を除いて、電源を切るかマナーモードにしてかばんの中に入しうこと。また、録音や録画・写真の撮影は、原則として禁止とする。 教官の指定する座席に着席すること。講義中に離席する必要がある場合は、教官に申し出ること。 水分補給以外の飲食は禁止とする。 机に突っ伏して寝ないこと(授業者へのダメージが大きいため)。 レポート等で何かを参考にしたり文章を引用したりした場合は、必ずそれがわかるようにし、出典を記載すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント				
学修成果	学期末試験	0	①	⑥				
			②					
			③					
			④					
			⑤					
	平常評価	小テスト	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	50	①		✓	⑥	(獲得) 小学校社会科のもととなる世の中の仕組みや課題に関する知識 (40%) (活用) 社会に関する新しい視点をもったり問題点を抽出したりできる (40%) (解決) 抽出した問題点に対して、自分なりの分析を行い改善策を提案できる (20%)
				②		✓		
				③		✓		
				④		✓		
				⑤		✓		
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	40	①	✓	⑥	(獲得) 社会科の目的にあった学習指導案を作成できる知識 (30%) (活用) 児童が関心をもったり思考を深めたりする資料を選び、授業の導入を工夫することができる (20%) (解決) 児童が楽しく学習に参加するような提案性のある模擬授業を行うことができる (50%)			
		②	✓					
		③	✓					
		④						
		⑤						
学修行動	社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	⑥	✓	【主体性】グループやペアでの話し合いに積極的に参加しようとしたり、全体の場で自分の疑問点や考えを述べたりすることができる。また、自分で情報を集めようすることができる。 【実行力】必要な情報や知識を自ら集め、それを学修にいかすことができる。 【課題発見力】学修内容や時事問題に対して、本質を捉え、自分なりの課題を見つけることができる。 【創造力】楽しい授業を創りあげるために、自分なりの工夫を考えることができる。 【発信力】グループやペアでの話し合いや全体での発表の場面で自分の考えを分かりやすく表現することができる。 【傾聴力】グループやペアでの話し合いの場面等で他の学生の考えを共感的に聞いて、自分の考えの練り上げに活かすことができる。 【規律性】学修上のルールを守って行動したり、学修課題に沿ってグループやペアで話し合ったりすることができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援とその基礎となる社会的な見方や考え方を関連付けて、実践レベルで理解したり表現したりすることができる。②世の中の出来事や課題に関心を持ち、発言やレポートなどで多様な視点に立った上で自分の考えをしっかりと表現することができる。	①小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援とその基礎となる社会的な見方や考え方を理解したり表現したりすることができる。②世の中の出来事や課題に関心を持ち、発言やレポートなどで自分の考えを表現することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション(講師の自己紹介、受講生の自己紹介、授業の概要・計画および評価について、受講する上でのルール・マナーの確認、座席やペア・グループの確認)。資料をもとにした授業展開の例を体験し、身近にある教材や資料を活用した授業実践にふれる。	講義 ディスカッション グループ・ペアワーク	受講する上でのルールやマナーを理解し、それを守りながらペアやグループで学びを深めていこうとする意欲をもったりラポール形成をしたりすることができる。	(予習) これまで受けてきた小学校社会科の授業でどのようなことを学んだのかを振り返り、印象深かった授業をさらに発展させるにはどのようにすると良いかアイデアを考える。 (復習) 授業を振り返り、自分はどのような小学校社会科の授業をめざしたいのかイメージする。また、津田塾大学ライティングセンターの「レポートの書き方」を参照し、今後のレポートの書き方について学ぶ。 https://twc.tsuda.ac.jp/news/202007/20200708000000455.html	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
2	小学3・4年生の際に学んだ郷土学習の内容を想起し、各地域でどのような副読本づくりが行われ、どのような学びが行われるかを理解する。	講義 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートのフィードバック (2週目以降、google forms や google classroom を用いての授業やフィードバックをすることもある)	小学3・4年生で学ぶ内容を理解することができる。	(予習) 小学校学習指導要領を読んで、3・4年生で学ぶ内容をつかみ、キーワードをチェックする。 (復習) 授業で明らかになったポイントを振り返る中で、郷土学習が5・6年生での学びにどのように繋がっていくか整理する。	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
3	小学校3年生の社会科の内容に関する模擬授業に参加をし、授業の導入や場面設定の工夫について考える。社会科に関する一般教養1について学び、課題について自分の考えをもつ。	講義・演習 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートのフィードバック	模擬授業に参加をして、その内容について授業検討をすることができる。 一般教養1の課題について、自分の考えをもつことができる。	(予習) 小学校3年生の社会科では、どのような学習内容を行うか、学習指導要領社会科の目標を読み直して確認する。 (復習) 模擬授業の内容について、その長所をまとめたり、他の方法を探るとしたらどのような授業の組み立て方があるかを自分なりに考えてまとめたりする。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	小学校4年生の社会科の内容に関する模擬授業に参加をし、授業の導入や場面設定の工夫について考える。社会科に関する一般教養2について学び、課題について自分の考えをもつ。	講義・演習 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートのフィードバック	模擬授業に参加をして、その内容について授業検討をすることができる。 一般教養2の課題について、自分の考えをもつことができる。	(予習) 小学校4年生の社会科では、どのような学習内容を行うか、学習指導要領社会科の目標を読み直して確認する。 (復習) 模擬授業の内容について、その長所をまとめたり、他の方法を探るとしたらどのような授業の組み立て方があるかを自分なりに考えてまとめたりする。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	資料の読み取りや活用を中心とした社会科の内容に関する模擬授業に参加をし、児童の関心を高める資料提示について考える。社会科に関する一般教養3について学び、課題について自分の考えをもつ。	講義・演習 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートのフィードバック	模擬授業に参加をして、その内容について授業検討をすることができる。 一般教養3の課題について、自分の考えをもつことができる。	(予習) 小学校5・6年生の社会科では、どのような学習内容を行い、教科書ではどのような資料が授業に活用されているか、教科書を読んで確認する。 (復習) 模擬授業の内容について、その長所をまとめたり、5・6年生の授業で資料を活用した授業を行う場合、どのような資料の提示が考えられるか、自分なりのアイデアをまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	小学校6年生の日本の政治に関わる模擬授業に参加をし、児童の関心を高めるアクティビティの方法や模擬選挙の実践方法を考える。社会科に関する一般教養4について学び、課題について自分の考えをもつ。	講義・演習 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートのフィードバック	小学校6年生の日本の政治に関わる学習で、児童の関心を高める授業方法について理解することができる。 社会科に関する一般教養4について学び、課題について自分の考えをもつことができる。	(予習) 小学校6年生で学ぶ日本の政治についての基本用語や基礎知識を確認する。 (復習) 政治についての学習が中学校の公民ではどのような内容になるか、自分で調べてまとめる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	小学校6年生の日本の歴史に関わる学習で、児童の関心を高める導入のための資料を選び、その活用方法を考える。社会科に関する一般教養5について学び、課題について自分の考えをもつ。	講義・演習 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートのフィードバック	小学校6年生の日本の歴史に関わる学習で、児童の関心を高める導入の資料を選ぶことができる。 社会科に関する一般教養5について学び、課題について自分の考えをもつことができる。	(予習) 小学校学習指導要領社会科6年生を読み直して、学習の目的にふさわしく、児童が関心をもつ資料をいくつかピックアップする。 (復習) 他の学生が選んだ資料について、自分なりの活用方法を書き出してみよう。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	小学校社会科の学習指導案の内容について理解し、その書き方について学ぶ。社会科に関する一般教養6について学び、課題について自分の考えをもつ。	講義・演習 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートのフィードバック	小学校社会科の学習指導案の内容を理解することができる。 社会科に関する一般教養6について学び、課題について自分の考えをもつことができる。	(予習) 全国の研究発表校の社会科指導案をインターネットで調べ、どのような項目にどのようなことが書かれているかを事前に調べておく。 (復習) 講義で紹介された指導案やインターネットで調べた指導案を見比べて、共通していることや独特な書き方になっていることなどを書き出してまとめる。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	自分が行う模擬授業をどの学年のどの単元でどんな授業を行うかを決定し、指導案を作成する。 社会科に関する一般教養7について学び、課題について自分の考えをもつ。	演習 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートのフィードバック	自分が行う模擬授業の学年と単元、授業内容を決定し作成することができる。 社会科に関する一般教養7について学び、課題について自分の考えをもつことができる。	(予習) 模擬授業で自分が行いたい学年の教科書をしっかりと読み、どの単元のどの授業で実施するか、そのときにどのような資料を活用するかの候補を書き出し、見直しをもっておく。 (復習) 作成した指導案の修正点はないか、検討する。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	前時に作成した模擬授業の指導案を修正し、板書計画と共に完成させる。	演習 前時のレポートのフィードバック	模擬授業の正規の社会科学習指導案を作成することができる。	(予習) 前時までで作成した指導案に何を加えれば良いかを調べ、その加えるべき項目の下書きを作成する。 (復習) 作成した学習指導案の修正点はないか、検討する。	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
11	模擬授業に授業者として、児童役として参加し、それぞれの授業の良さや改善点について検討する。	実習 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートのフィードバック	模擬授業に参加し、それぞれの授業の良さや改善点について検討することができる。	(予習) 模擬授業で行う授業の指導案を読んで、参加する際のポイントをまとめておく。 (復習) 各自の模擬授業について振り返り、それぞれの模擬授業の長所と改善点をまとめる。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	模擬授業に授業者として、児童役として参加し、それぞれの授業の良さや改善点について検討する。	実習 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートのフィードバック	模擬授業に参加し、それぞれの授業の良さや改善点について検討することができる。	(予習) 模擬授業で行う授業の指導案を読んで、参加する際のポイントをまとめておく。 (復習) 各自の模擬授業について振り返り、それぞれの模擬授業の長所と改善点をまとめる。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	模擬授業に授業者として、児童役として参加し、それぞれの授業の良さや改善点について検討する。	実習 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートのフィードバック	模擬授業に参加し、それぞれの授業の良さや改善点について検討することができる。	(予習) 模擬授業で行う授業の指導案を読んで、参加する際のポイントをまとめておく。 (復習) 各自の模擬授業について振り返り、それぞれの模擬授業の長所と改善点をまとめる。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	前時まで実施された模擬授業を振り返り、児童の関心を高めたり学びを深めたりする授業について考え、授業づくりの工夫やおもしろさについて感じる。	講義 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートのフィードバック	児童の関心を高めたり学びを深めたりする授業について考え、授業づくりの工夫やおもしろさを感じることができる。	(予習) 授業の導入ではどのような資料提示や発問をすると良いか、主発問はどのようにするとよいか等について、今までの講義をもとに、簡条書きで大切なことを書き出す。 (復習) 前期を通して学んだことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	今までの講義を振り返り、小学校社会科の授業を行うに際して、どのようなことを大切にしたいか、どのような工夫をすることができるかについて考え、まとめを行う。	講義 ディスカッション グループ・ペアワーク 前時のレポートのフィードバック	今までの講義を振り返り、小学校社会科の授業を行うに際して、どのようなことを大切にしたいか、どのような工夫をすることができるかについて考え、まとめを行うことができる。	(予習) 今までの講義についてのまとめや感想を読み返し、どのような学びがあったかを想起しておく。 (復習) 今までの講義を通して考えた授業のアイデアや工夫を簡条書きで書き出し、教育実習に生かせるように資料としてまとめておく。	180	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力